

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画

令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-14

4-I-14

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	外国人観光客の受入環境整備
	節 I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	14 トイレの洋式化	事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28~R4	関連団体
事業概要	【事業目的】	○トイレの洋式化により外国人観光客の受入環境整備を図る。	
	【事業内容】	○市内全域において主要な既設公衆トイレの洋式化整備について、計画的に実施する。(改修既設公衆トイレ数: 8器) ○民間施設のトイレについて洋式化を推進する。	
元事業計画と実績	【元年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●佐渡市で所管するトイレ施設について統廃合も含めた整備方針の見直しを検討する。 ●県所有トイレの洋式化を要望する。 ●民間施設のトイレ洋式化を推進するため補助金活用などの支援を行う。 	
	【元年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●県所有トイレ(春日崎公衆トイレ)の洋式化工事を要望し、工事が実現した。 ●交付金を活用した民間施設のトイレ改修にかかる相談を行った。 	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■主要トイレ(一周線沿い等)の洋式化は概ね整備できたが、来訪者の導線を想定しトイレが必要になる箇所の確認が重要である。 ■民間施設トイレの現状把握に努める。 	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■民間施設のトイレ情報(洋式化・数量等)の現状調査を行う。 ■交付金を活用した民間施設のトイレ改修支援を行う。 	
事業評価	【事業の達成度】	◇主要トイレの一角である春日崎公衆トイレの洋式化が実施できたことからBとする。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。